

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

胸椎後縦靭帯骨化症における手術加療と術後成績についての検討

[研究責任者]

整形外科 医師 篠原 健介

[研究の背景]

胸椎後縦靭帯骨化症は非常にまれな疾患であり、その手術療法は確立していないのが現状です。しかしながら、神経症状を呈した場合における有効な治療法は外科的治療しか効果がないと報告されています。

また、頸椎後縦靭帯骨化症と比較し、手術後の神経症状悪化率が高いとの報告もあり、術後予後不良因子の同定も急がれています。

そのためにも当科における現在までの胸椎後縦靭帯骨化症に対する手術方式、術後成績を詳細に検討する必要がある原因も治療法も不確定なものが多い胸椎後縦靭帯骨化症における手術方法や術後成績の検討により、その治療法の確定や予後不良因子の同定、より良い予後改善のための研究は急務であり意義は深いものと考えます。

[研究の目的]

当院の胸椎後縦靭帯骨化症における手術方法、術後成績、また予後不良因子の同定を調査し、術後の機能的回復を調査、検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2000 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の間に当院で胸椎後縦靭帯骨化症に対して手術加療を受けた方

●研究期間：

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦 2021 年 10 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

用する検体：利用しない

カルテ情報：下記の情報を収集します。

- 患者さんの基本的な情報

(性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力など)

• 臨床情報

(診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など)

• レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査など画像検査

(骨化部、脊髄圧迫の状態、インプラントの状態など)

• 血液検査結果

(白血球、ヘモグロビン、CRP など)

• 理学療法評価

(動作能力、神経症状の手術前後の結果など)

● 検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

【研究責任者】

岡山医療センター 整形外科 医師 篠原 健介

【研究分担者】

岡山医療センター 整形外科 竹内 一裕

岡山医療センター 整形外科 廣瀬 友彦

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 整形外科 篠原健介が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡山医療センター 整形外科

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

電話：086-294-9911

研究代表者：整形外科 医師 篠原 健介